

## 事務事業評価調書

事務事業名	行政評価実施事業				
担当部名	行政経営部	室課名	企画財政室	室課長名	岡松 道哉

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成14年度	改正内容	行政評価の客観性及び透明性を確保するため、公募で選出した市民委員が行政評価委員会に参画できることとした。											
(2)	直近の改正	平成28年度													
(3)	根拠法令等	吹田市行政評価実施要領、吹田市行政評価委員会設置要領													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	08	基本計画推進のために	節	04	細節	00							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市が実施する全施策・全事務事業												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	客観的な評価基準に基づいて分析・評価し、事業の課題等も含め今後の事業のあり方を示す。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	事業の優先順位を検証し、真に必要な市民サービスを持続的に提供する。													
(7)	事業概要	<p>全施策及び全事務事業について、担当所管による1次評価(自己評価)を実施し、それらの中から選定された施策及びそれを構成する事務事業については、行政評価委員会による2次評価を実施する。</p> <p>また、2次評価においては、客観性・透明性の確保のため、学識経験者、有識者及び公募市民による専門的な見地や多角的な視点からの意見や助言をいただき、それらを踏まえた2次評価結果とする。</p>													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	05	大事業	04	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		103	110	205	162	205							
		人件費	職員数	人	2.50	1.50	2.30	1.50	2.30						
			総額(B)	千円	20,880	12,059	18,791	11,850	18,520						
		総事業費(A+B)		20,983	12,169	18,996	12,012	18,725							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
		市負担(D)		20,983	12,169	18,996	12,012	18,725							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
一般財源	20,983		12,169	18,996	12,012	18,725									
財源計(C+D)		20,983	12,169	18,996	12,012	18,725									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 行政評価1次評価実施施策数	目標値	(単位:施策)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:施策)	105.00	106.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法 評価対象の全施策において実施するため、目標設定になじまない。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	115.90	117.14		
			一般財源(単位:千円)	115.90	117.14		
	②	指標内容 行政評価2次評価実施施策数	目標値	(単位:施策)	0.00	0.00	
実績値			(単位:施策)	5.00	5.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法 選定基準にもとづき選定した事業を対象とするため、目標設定にはなじまない。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	2,433.80	2,483.40			
		一般財源(単位:千円)	2,433.80	2,483.40			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が 困難な場合を示す	①	活動内容			目標		
	②	成果内容	事業の優先順位を検証し、真に必要な市民サービスを持続的に提供する。		達成状況	適切に分析・評価を行うことにより、より効果的な行政運営に寄与している。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>PDCAマネジメントサイクルを確立するために、この事業は重要な位置付けであり、必要不可欠なものである。</p> <p>平成28年度からは、行政評価委員会に学識経験者、有識者及び公募で選出した市民の参画を求め、聴取した意見や助言を踏まえた評価を実施している。</p> <p>また、新公会計制度を活用しながら、より効果的な分析・評価を行うための取組が必要である。</p>				

事務事業分析シート

所属名	企画財政室	事業名	行政評価実施事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00065				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	95	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	企画財政室	事務事業番号	00065
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

行政評価の客観性及び透明性を確保するため、学識経験者、有識者及び公募で選出された市民が一同に会して議論を行う行政評価委員会を開催し、専門的な見地や多角的な視点からの意見や助言をいただき、それらを踏まえた評価を実施している。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	15	有効性	10	効率性	5	公平性	5	持続可能性	10
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	15														
有効性	10														
効率性	5														
公平性	5														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>各市においても効果的・効率的な行政運営の推進のため、行政評価を実施している。          本事業は、目標及び成果を指標として表すことは難しいが、市が実施するすべての事業の優先順位付けを行うための基本となるものであり、PDCAマネジメントサイクルの確立に必要な事業であることから、その重要度は大変高いものである。          今後、新公会計制度を活用しながら、より効果的な分析・評価を行うための取組が必要である。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	財政事務事業				
担当部名	行政経営部	室課名	企画財政室	室課長名	山下 栄治

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	不明	改正 内容	無											
(2) 直近の改正	無													
(3) 根拠法令等	地方財政法、地方自治法、吹田市財務規則													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	08	基本計画推進のために	節	04	細節	00							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	吹田市財政											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	将来世代に過度な負担を残すことなく、健全で持続可能な財政運営を図る。 必要な施策を継続するとともに、新たな課題にも対応することができる。												
(7) 事業概要	市の各種施策を実施するための予算措置を行い、予算が適正に執行されているかどうかを管理するとともに、地方交付税に関する事務等、吹田市の財政全般に関する事務を行う。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	01	大事業	11	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		4,527	3,318	4,445	3,315	4,503							
	人件費	職員数	人	12.79	12.81	13.80	14.91	12.50						
		総額(B)	千円	106,823	102,980	112,746	117,790	100,650						
	総事業費(A+B)		111,350	106,298	117,191	121,105	105,153							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
		国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
	その他		0	0	0	0	0							
	(内訳)	市負担(D)		111,350	106,298	117,191	121,105	105,153						
		地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		111,350	106,298	117,191	121,105	105,153								
財源計(C+D)		111,350	106,298	117,191	121,105	105,153								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 一般会計・特別会計当初予算額	目標値	(単位:千円)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:千円)	8,014,183.00	11,478,978.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法 目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 経常収支比率	目標値	(単位:%)	95.00	95.00	/
			実績値	(単位:%)	95.20	0.00	
		達成度(%)		100.2	0.0		
	目標値の積算方法 「第2期財政健全化計画(案)前期計画」の考え方を引継ぎ95%とする。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1,116.58	0.00		
			一般財源(単位:千円)	1,116.58	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>厳しい財政状況が続くなか、国・府補助金の獲得など、歳入の確保に努めるとともに、各種施策に係る事業費を精査し、効果的な財源配分を行う必要がある。</p> <p>必要な施策を継続するとともに、新たな課題にも対応できるよう、予算編成、予算執行管理、決算分析を適切に行いながら、将来世代に過度の負担を残すことなく、健全で持続可能な財政運営を図る。</p> <p>* なお、上記の成果指標については、平成27年度の達成度が100.2%と表示されているが、実際の達成度については目標値を実績値で除した数値である99.8%となり、目標には達していない。</p>				

事務事業分析シート

所属名	企画財政室	事業名	財政事務事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00066				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

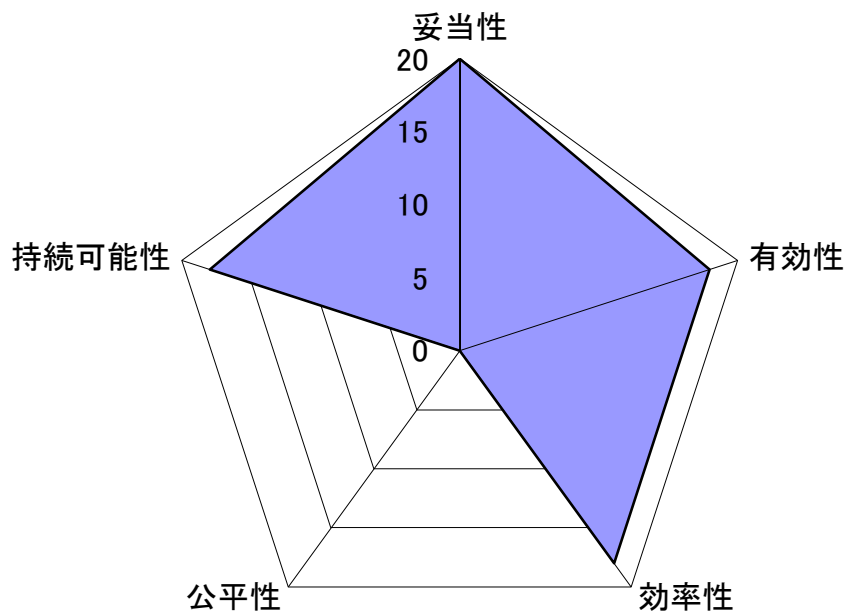
評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		



所属名	企画財政室	事務事業番号	00066
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成27年度は、赤字地方債の発行は行わず、実質収支で黒字を保ったものの、財政調整基金2億円を繰り入れる決算となった。          今後、人口減少社会を迎える中で、生産年齢人口の減少などに伴い、市税収入の大幅な増収を見込むことができない一方、高齢化などによって社会保障関係経費が増加することや、大規模な公共事業の実施が予定されており、厳しい財政運営が想定される。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



## 事務事業評価調書

事務事業名	交通災害・火災等共済特別会計繰出事業				
担当部名	行政経営部	室課名	企画財政室	室課長名	山下 栄治

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和47年度	改正内容	無											
(2) 直近の改正	無													
(3) 根拠法令等	吹田市交通共済・火災等共済条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	08	基本計画推進のために	節	04	細節	00							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	交通災害・火災等共済特別会計											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	交通災害・火災等共済への加入に係る市負担分について繰出しを行う。												
(7) 事業概要	吹田市交通災害共済への中学生以下及び生活保護受給者の加入に係る市負担分及び吹田市火災共済への生活保護受給世帯の加入に係る市負担分について一般会計から交通災害・火災等共済特別会計に繰出しを行う。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	12	大事業	01	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		4,337	3,851	4,314	4,314	4,128							
	人件費	職員数	人	0.01	0.01	0.11	0.11	0.10						
		総額(B)	千円	84	81	899	870	806						
	総事業費(A+B)		4,421	3,932	5,213	5,184	4,934							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		4,421	3,932	5,213	5,184	4,934							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		4,421	3,932	5,213	5,184	4,934								
財源計(C+D)		4,421	3,932	5,213	5,184	4,934								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	繰出金額	目標値	(単位:千円)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:千円)	3,851.00	4,314.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1.02	1.21		
				一般財源(単位:千円)	1.02	1.21		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法	目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	交通災害・火災等共済特別会計実質収支額	目標値	(単位:千円)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:千円)	42,179.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.09	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.09	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法	目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		交通災害共済への中学生以下及び生活保護受給者の加入にかかる減額免除分及び火災等共済への生活保護受給世帯の加入にかかる1口分の加入金については、吹田市交通災害・火災等共済条例において市の負担となっており、これに基づき繰出しを行っていく。					

事務事業分析シート

所属名	企画財政室	事業名	交通災害・火災等共済特別会計繰出事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00067				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	企画財政室	事務事業番号	00067
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>交通災害共済への中学生以下及び生活保護受給者の加入にかかる減額免除分及び火災等共済への生活保護受給世帯の加入にかかる1口分の加入金については、吹田市交通災害・火災等共済条例において市が負担することとなっており、交通災害・火災等共済制度の財政基盤の安定を図り、健全に運営していくためにも一般会計からの繰出しが必要であると考えます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	財政調整基金積立事業				
担当部署	行政経営部	室課名	企画財政室	室課長名	山下 栄治

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成元年	改正内容	無											
(2) 直近の改正	無													
(3) 根拠法令等	地方財政法、地方自治法、吹田市財政調整基金条例													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	08	基本計画推進のために	節	04	細節	00							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	範囲等	財政調整基金												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	経済事情の変動等による財源不足に備えて基金を積み立てる。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	年度間の財源の不均衡を調整することで安定した財政運営を行うことができる。												
(7) 事業概要	年度間の財源の不均衡を調整するために一般財源の剰余金等を基金に積み立てる。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	22	大事業	01	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		153	555,688	139	84,108	164							
	人件費	職員数	人	0.01	0.01	0.11	0.11							
		総額(B)	千円	84	81	899	870							
	総事業費(A+B)		237	555,769	1,038	84,978	970							
	特定財源(C)		153	219	139	0	164							
	(内訳)	国		0	0	0	0							
		府		0	0	0	0							
		その他		153	219	139	0	164						
	市負担(D)		84	555,550	899	84,978	806							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0							
		その他		0	0	0	0							
一般財源		84	555,550	899	84,978	806								
財源計(C+D)		237	555,769	1,038	84,978	970								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

## 2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	財政調整基金積立額	指標内容	目標値 (単位:千円)	0.00	0.00	/
			実績値 (単位:千円)	555,689.00	84,108.00		
			達成度(%)	0.0	0.0		
	目標値の積算方法	目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1.00	1.01	/
			一般財源(単位:千円)	1.00	1.01		
			達成度(%)	0.0	0.0		
(2) 成果指標	①	財政調整基金残高	指標内容	目標値 (単位:千円)	0.00	0.00	/
			実績値 (単位:千円)	10,543,986.00	0.00		
			達成度(%)	0.0	0.0		
	目標値の積算方法	目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.05	0.00	/
			一般財源(単位:千円)	0.05	0.00		
			達成度(%)	0.0	0.0		
(3) が困難な場合	②	指標内容	指標内容	目標値 (単位:)	0.00	0.00	/
			実績値 (単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)	0.0	0.0		
	目標値の積算方法	目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	/
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
			達成度(%)	0.0	0.0		
①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定					
	評価の説明	地方財政法により、一般会計の剰余金の2分の1以上を基金として積立てなければならないと規定されていることと、経済情勢の悪化などによる財源不足に備えるためにも、積立を今後も継続して行っていく。					

# 事務事業分析シート

所属名	企画財政室	事業名	財政調整積立基金事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00068				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

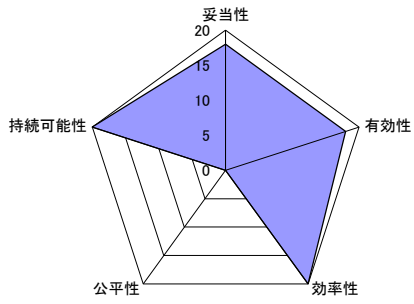
評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	95	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		



所属名	企画財政室	事務事業番号	00068
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>地方財政法により、一般会計の剰余金の2分の1以上を基金として積み立てなければならないと規定されていることと、経済情勢の悪化などによる財源不足に備えるためにも、積立を今後も継続して行っていく。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	介護保険特別会計繰出事業				
担当部名	行政経営部	室課名	企画財政室	室課長名	山下 栄治

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成12年度	改正内容	地域包括ケアシステムの構築と費用負担の公平化をめざす考え方を踏まえた法律の一部改正											
(2) 直近の改正	平成27年度													
(3) 根拠法令等	介護保険法													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input checked="" type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明		介護保険事業に従事する職員人件費及び事務費等に対する繰出し											
(5) 総合計画の体系	章	08	基本計画推進のために	節	04	細節	00							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	介護保険特別会計											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	介護給付費及び地域支援事業費に係る市負担金及び事業費等について一般会計から繰出しを行う。												
(7) 事業概要	介護給付費及び地域支援事業費に係る市負担金及び事務費等について、介護保険事業の財政基盤の安定を図るために一般会計から介護保険特別会計へ繰出しを行う。													
(8) H28事業別予算コード	会計	01	款	03	項	01	目	12	大事業	01	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		3,541,262	3,439,213	3,649,308	3,468,284	3,835,026							
	人件費	職員数	人	0.01	0.01	0.11	0.11	0.10						
		総額(B)	千円	84	81	899	870	806						
	総事業費(A+B)		3,541,346	3,439,294	3,650,207	3,469,154	3,835,832							
	特定財源(C)		8,899	49,978	43,989	45,823	41,469							
	(内訳)	国		8,899	36,285	30,495	32,000	27,646						
		府		0	13,693	13,494	13,823	13,823						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		3,532,447	3,389,316	3,606,218	3,423,331	3,794,363							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		3,532,447	3,389,316	3,606,218	3,423,331	3,794,363								
財源計(C+D)		3,541,346	3,439,294	3,650,207	3,469,154	3,835,832								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

## 2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	繰出金額	目標値	(単位:千円)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:千円)	3,439,213.00	3,468,284.00		
		達成度(%)			0.0	0.0		
	目標値の積算方法	目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1.00	1.00	
				一般財源(単位:千円)		0.99	0.99	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法		目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容	介護保険特別会計実質収支額	目標値	(単位:千円)	0.00	0.00
	実績値			(単位:千円)	292,383.00	0.00		
	達成度(%)			0.0	0.0			
	目標値の積算方法	目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		11.76	0.00	
				一般財源(単位:千円)		11.59	0.00	
	(4) 総合評価	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法		目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
①		活動内容					目標	
	成果内容					達成状況		
今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明		介護給付費及び地域支援事業費に係る市負担金については、介護保険法に基づく繰出しであること、また、事務費等についても介護保険特別会計の財政基盤の安定を図るため繰出しを行っていくが、繰出金額については適正な金額となるよう、担当課と協議を行っていく。						

# 事務事業分析シート

所属名	企画財政室	事業名	介護保険特別会計繰出事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00069				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	10	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	企画財政室	事務事業番号	00069
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>介護給付費及び地方支援事業費に係る市負担金については、介護保険法に基づく繰出しであること、また、事務費等についても介護保険制度の健全な運営のために繰出しを行う必要があると考えているが、繰出金額が過大とならないように事業費について担当課と協議を行っていく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	後期高齢者医療特別会計繰出事業				
担当部署	行政経営部	室課名	企画財政室	室課長名	山下 栄治

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成20年度	改正内容	無											
(2) 直近の改正	無													
(3) 根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input checked="" type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明		後期高齢者医療事業に従事する職員人件費及び事務費等に対する繰出し											
(5) 総合計画の体系	章	08	基本計画推進のために	節	04	細節	00							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	後期高齢者特別会計											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	後期高齢者医療特別会計の財政基盤の安定を図り、後期高齢者医療制度を健全に運営することができる。												
(7) 事業概要	保険基盤安定負担金及び事務費等について、被保険者の保険料負担を緩和するとともに後期高齢者医療事業の財政基盤の安定を図るために一般会計から後期高齢者医療特別会計へ繰出しを行う。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	03	項	01	目	17	大	01	中	01	小	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		862,452	848,610	879,829	830,878	864,208							
	人件費	職員数	0.01	0.01	0.11	0.11	0.10							
		総額(B)	84	81	899	870	806							
	総事業費(A+B)		862,536	848,691	880,728	831,748	865,014							
	特定財源(C)		480,128	488,769	531,925	502,129	534,147							
	(内訳)	国	3,529	3,529	1,423	0	0							
		府	476,599	485,240	530,502	502,129	534,147							
		その他	0	0	0	0	0							
	市負担(D)		382,408	359,922	348,803	329,619	330,867							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		382,408	359,922	348,803	329,619	330,867								
財源計(C+D)		862,536	848,691	880,728	831,748	865,014								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	繰出金額		目標値 (単位:千円)	0.00	0.00	/
			実績値 (単位:千円)		848,610.00	830,878.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1.00	1.00	
				一般財源(単位:千円)		0.42	0.40	
	②	指標内容			目標値 (単位:)	0.00	0.00	/
実績値 (単位:)			0.00	0.00				
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法				単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標		①	指標内容	後期高齢者医療特別会計実質収支額		目標値 (単位:千円)	0.00	0.00
	実績値 (単位:千円)			0.00	0.00			
	達成度(%)		0.0	0.0				
	目標値の積算方法	目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容			目標値 (単位:)	0.00	0.00	/
実績値 (単位:)			0.00	0.00				
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法				単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00			
(3) が指標で 困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性 (実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		保険基盤安定負担金については、高齢者の医療の確保に関する法律による繰出しであること、また、事務費等についても後期高齢者医療特別会計の財政基盤の安定を図るため繰出しを行っていくが、繰出金額については適正な金額となるよう、担当課と協議を行っていく。					



事務事業分析シート

所属名	企画財政室	事業名	後期高齢者医療特別会計繰出事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00070				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	87	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	企画財政室	事務事業番号	00070
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<p>The radar chart displays five dimensions: 妥当性 (Justification), 有効性 (Effectiveness), 効率性 (Efficiency), 公平性 (Fairness), and 持続可能性 (Sustainability). The scale ranges from 0 to 20. The scores are approximately: 妥当性: 18, 有効性: 15, 効率性: 10, 公平性: 5, 持続可能性: 5.</p>		
(3)現状分析	<p>保険基盤安定負担金については、高齢者の医療の確保に関する法律による繰出しであること、また、事務費等についても後期高齢者医療制度の健全な運営のために繰出しを行う必要があると考えているが、繰出金額が過大とならないように事業費について担当課と協議を行っていく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	国民健康保険特別会計繰出事業				
担当部名	行政経営部	室課名	企画財政室	室課長名	山下 栄治

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和39年度	改正内容	無											
(2) 直近の改正	無													
(3) 根拠法令等	国民健康保険法													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input checked="" type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明		国民健康保険特別会計の赤字解消分及び保険料の減免・給付事業のうち市の基準に基づくものに対する繰出し。											
(5) 総合計画の体系	章	08	基本計画推進のために	節	04	細節	00							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	国民健康保険特別会計											
	結果(どのような効果が得られるのか)	国民健康保険特別会計の財政基盤の安定を図り、国民健康保険制度を健全に運営することができる。												
(7) 事業概要	保険基盤安定負担金及び保険料の減免分並びに事務費等について、被保険者の保険料負担を緩和するとともに累積赤字を解消して国民健康保険制度の財政基盤の安定を図るために一般会計から国民健康保険特別会計へ繰出しを行う。													
(8) H28事業別予算コード	会計	01	款	03	項	06	目	01	大事業	01	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		3,829,523	4,034,881	3,995,451	3,990,096	3,786,596							
	人件費	職員数	人	0.01	0.01	0.11	0.11	0.10						
		総額(B)	千円	84	81	899	870	806						
	総事業費(A+B)		3,829,607	4,034,962	3,996,350	3,990,966	3,787,402							
	特定財源(C)		1,482,938	1,593,447	1,618,282	1,670,000	1,641,750							
	(内訳)	国		302,188	375,389	372,032	387,558	371,500						
		府		1,180,750	1,218,058	1,246,250	1,282,442	1,270,250						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		2,346,669	2,441,515	2,378,068	2,320,966	2,145,652							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		2,346,669	2,441,515	2,378,068	2,320,966	2,145,652								
財源計(C+D)		3,829,607	4,034,962	3,996,350	3,990,966	3,787,402								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	繰出金額	目標値	(単位:千円)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:千円)	4,034,881.00	3,990,096.00		
		達成度(%)			0.0	0.0		
	目標値の積算方法	目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1.00	1.00	
				一般財源(単位:千円)		0.61	0.58	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法		目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容	国民健康保険特別会計実質収支額	目標値	(単位:千円)	0.00	0.00
	実績値			(単位:千円)	0.00	0.00		
	達成度(%)			0.0	0.0			
	目標値の積算方法	目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	(4) 総合評価	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法		目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
①		活動内容					目標	
	成果内容					達成状況		
今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明		国民健康保険特別会計が抱える累積赤字を解消し、国民健康保険制度を健全に運営していくために繰出しを行っていくが、繰出金額については適正な金額となるよう、担当課と協議を行っていく。						

事務事業分析シート

所属名	企画財政室	事業名	国民健康保険特別会計繰出事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00071				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	85	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	企画財政室	事務事業番号	00071
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>保険基盤安定負担金及び保険料の減免分並びに事務費等について繰出しを行うことは、被保険者の保険料負担の緩和、累積赤字の解消及び国民健康保険制度の財政基盤の安定を図るために必要であると考え、繰出金額が過大とならないように事業費について担当課と協議を行っていく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	勤労者福祉共済特別会計繰出事業				
担当部名	行政経営部	室課名	企画財政室	室課長名	山下 栄治

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和49年度	改正内容	無											
(2) 直近の改正	無													
(3) 根拠法令等	吹田市勤労者福祉共済基金条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	08	基本計画推進のために	節	04	細節	00							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	勤労者福祉共済特別会計											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	勤労者福祉共済事業に係る人件費について、一般会計から繰出しを行う。												
(7) 事業概要	勤労者福祉共済制度の健全な運営のため、勤労者福祉共済事業に係る人件費について一般会計から勤労者福祉共済特別会計に繰出しを行う。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	05	項	01	目	03	大事業	01	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		9,115	5,956	9,333	5,500	8,734							
	人件費	職員数	人	0.01	0.01	0.11	0.11	0.10						
		総額(B)	千円	84	81	899	870	806						
	総事業費(A+B)		9,199	6,037	10,232	6,370	9,540							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
		国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
	その他		0	0	0	0	0	0						
	(内訳)	市負担(D)		9,199	6,037	10,232	6,370	9,540						
		地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		9,199	6,037	10,232	6,370	9,540								
財源計(C+D)		9,199	6,037	10,232	6,370	9,540								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													



2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	繰出金額	目標値	(単位:千円)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:千円)	5,956.00	6,714.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1.01	0.95		
				一般財源(単位:千円)	1.01	0.95		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法	目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	勤労者福祉共済特別会計実質収支額	目標値	(単位:千円)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:千円)	19,169.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.31	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.31	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法	目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		繰出金額が適正な金額となるよう担当課と協議を行った上で、今後も繰出しを行っていく。					

# 事務事業分析シート

所属名	企画財政室	事業名	勤労者福祉共済特別会計繰出事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00072				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	14	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
(4) 公平性 (20点)	0	②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	77	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	企画財政室	事務事業番号	00072
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>勤労者福祉共済制度の健全な運営のためには、引き続き一般会計からの繰出しが必要であるが、繰出金額が過大とならないように担当課と協議を行っていく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	元金償還事業				
担当部署	行政経営部	室課名	企画財政室	室課長名	山下 栄治

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	不明	改正内容	無											
(2) 直近の改正	無													
(3) 根拠法令等	吹田市市債条例													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	08	基本計画推進のために	節	04	細節	00							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市債											
	目標 (どうい状態にしたいのか)	計画的に償還し、市債の新規発行を抑制することにより市債総額を減少させる。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市債総額が減少することによって将来世代への負担を軽減することができる。												
(7) 事業概要	公共施設の建設等に係る費用について世代間の負担を公平にするために発行する建設事業債及び地方税の減税・減収に伴う財源不足を補填するために発行する赤字地方債の元金について、償還計画に基づいて償還する。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	11	項	01	目	01	大	01	中	01	小	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		4,947,620	4,961,405	4,855,296	4,866,997	4,752,814							
	人件費	職員数	0.05	0.05	0.55	0.55	0.20							
		総額(B)	418	402	4,494	4,346	1,611							
	総事業費(A+B)		4,948,038	4,961,807	4,859,790	4,871,343	4,754,425							
	特定財源(C)		1,004	495	608	608	538							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	1,004	495	608	608	538							
	市負担(D)		4,947,034	4,961,312	4,859,182	4,870,735	4,753,887							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		4,947,034	4,961,312	4,859,182	4,870,735	4,753,887								
財源計(C+D)		4,948,038	4,961,807	4,859,790	4,871,343	4,754,425								
(10) (該当するものは全部チェック)	実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託又は一部委託		委託先		①							
							②							
					主な委託内容		③							
					交付先		①							
							②							
							③							
		□ その他		内容										

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	一般会計債残高	目標値	(単位:千円)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:千円)	45,941,306.00	46,678,709.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.11	0.10
				一般財源(単位:千円)		0.11	0.10
			達成度(%)		0.0	0.0	
②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
		実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00
			達成度(%)		0.0	0.0	
(2) 成果指標	①	公債費負担比率	目標値	(単位:%)	10.00	10.00	10.00
			実績値	(単位:%)	7.00	0.00	
			達成度(%)		70.0	0.0	
	目標値の積算方法	第2期財政健全化計画(案)前期計画にかかげられている目標である10%を目標値に設定した。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		708,829.57	0.00
				一般財源(単位:千円)		708,758.86	0.00
			達成度(%)		0.0	0.0	
②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
		実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		既発行債については順次償還していく必要があるため、本事業は今後も継続して行っていく。 * なお、上記の成果指標については、達成度が平成27年度は70.00%と表示されているが、実際の達成度については目標値を実績値で除した数値である142.86%となり、目標を上回っている。				

# 事務事業分析シート

所属名	企画財政室	事業名	元金償還事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00075				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	企画財政室	事務事業番号	00075
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>市債については、将来世代への負担の先送りをしないため、赤字地方債の発行を抑制している。成果指標にしている公債費負担比率は、平成27年度で7.0%となっており、目標である10.0%を達成している状況であり、平成28年度も同様の水準を維持する見込みである。また、同比率は北摂各市と比較しても低く、今後も適切な発行管理に努める必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	長期債利子償還事業				
担当部署	行政経営部	室課名	企画財政室	室課長名	山下 栄治

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	不明	改正 内容	無											
(2) 直近の改正	無													
(3) 根拠法令等	吹田市市債条例													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	08	基本計画推進のために	節	04	細節	00							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市債											
	目標 (どうい状態にしたいのか)	計画的に償還し、市債の新規発行を抑制することにより市債総額を減少させる。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市債総額が減少することによって将来世代への負担を軽減することができる。												
(7) 事業概要	公共施設の建設等に係る費用について世代間の負担を公平にするために発行する建設事業債及び地方税の減税・減収に伴う財源不足を補填するために発行する赤字地方債の利子について、償還計画に基づいて償還する。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	11	項	01	目	02	大事業	01	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		672,437	566,817	559,636	467,318	492,023							
	人件費	職員数	人	0.02	0.02	0.22	0.22							
		総額(B)	千円	168	161	1,798	1,738							
	総事業費(A+B)		672,605	566,978	561,434	469,056	493,634							
	特定財源(C)		526	578	600	571	627							
	(内訳)	国		0	0	0	0							
		府		0	0	0	0							
		その他		526	578	600	571	627						
	市負担(D)		672,079	566,400	560,834	468,485	493,007							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0							
		その他		0	0	0	0							
一般財源		672,079	566,400	560,834	468,485	493,007								
財源計(C+D)		672,605	566,978	561,434	469,056	493,634								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													



## 2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	一般会計債残高	目標値	(単位:千円)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:千円)	45,941,306.00	46,678,709.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	目標の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.01	0.01	
				一般財源(単位:千円)		0.01	0.01	
	(2) 成果指標	②		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標		①	公債費負担比率	目標値	(単位:%)	10.00	10.00	10.00
	実績値			(単位:%)	7.00	0.00		
	達成度(%)			70.0	0.0			
	目標値の積算方法	第2期財政健全化計画(案)前期計画に掲げられている目標である10%を目標値に設定した。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		80,996.86	0.00	
				一般財源(単位:千円)		80,914.29	0.00	
	(3) が困難な場合	②		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>既発行債については順次償還していく必要があるため、本事業は今後も継続して行っていく。</p> <p>* なお、上記の成果指標については、達成度が平成27年度は70.00%と表示されているが、実際の達成度については目標値を実績値で除した数値である142.86%となり、目標を上回っている。</p>					

## 事務事業分析シート

所属名	企画財政室	事業名	長期債利子償還事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00076				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	企画財政室	事務事業番号	00076
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<p>The radar chart displays five dimensions: 妥当性 (top), 有効性 (right), 効率性 (bottom-right), 公平性 (bottom-left), and 持続可能性 (left). The scale ranges from 0 to 20. The scores are approximately: 妥当性: 15, 有効性: 15, 効率性: 10, 公平性: 10, 持続可能性: 15.</p>		
(3)現状分析	<p>市債については、将来世代への負担の先送りをしないため、赤字地方債の発行を抑制している。成果指標にしている公債費負担比率は、平成27年度で7.0%となっており、目標である10.0%を達成している状況であり、平成28年度も同様の水準を維持する見込みである。また、同比率は北摂各市と比較しても低く、今後も適切な発行管理に努める必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	一時借入金利子償還事業				
担当部名	行政経営部	室課名	企画財政室	室課長名	山下 栄治

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正 内容	無											
(2)	直近の改正	無													
(3)	根拠法令等	吹田市市債条例													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	08	基本計画推進のために	節	04	細節	00							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	一般会計											
		結果 (どのような効果が得られるのか)	一般会計の支払資金に一時的に不足が生じた際、基金や金融機関等から資金を借入れ、支払資金の不足を補う。												
(7)	事業概要	歳入予算の収入の時期と歳出予算の支出の時期のずれにより、一般会計の支払資金に一時的に不足が生じる場合に基金や金融機関等から資金を借入れ、その際に発生する利子を支払う。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	11	項	01	目	02	大事業	01	中事業	01	小事業	02
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		527	106	527	146	27							
		人件費	職員数	人	0.02	0.02	0.22	0.22	0.10						
			総額(B)	千円	168	161	1,798	1,738	806						
		総事業費(A+B)		695	267	2,325	1,884	833							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		695	267	2,325	1,884	833							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			695	267	2,325	1,884	833								
財源計(C+D)		695	267	2,325	1,884	833									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 一時借入金累計額	目標値	(単位:千円)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:千円)	7,800,000.00	7,380,000.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法 目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 一時借入金利子額	目標値	(単位:千円)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:千円)	106.00	146.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法 目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	2.52	13.32		
			一般財源(単位:千円)	2.52	13.32		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		収入と支出の時期のずれによる支払資金の不足については、市の各種事業に係る経費の支出を遅滞なく行うためにも速やかに解消する必要があるため、基金や金融機関などからの一時的な資金の借入れを今後も必要に応じて行っていく。				

## 事務事業分析シート

所属名	企画財政室	事業名	一時借入金利子償還事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00077				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	87	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	企画財政室	事務事業番号	00077
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>歳計現金の一時的な支払資金の不足については、歳入予算の収入の時期と歳出予算の支出の時期にずれがあるため、毎年ほぼ決まった時期に発生している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	公債費管理事業				
担当部名	行政経営部	室課名	企画財政室	室課長名	山下 栄治

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	不明	改正 内容	無											
(2) 直近の改正	無													
(3) 根拠法令等	吹田市市債条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	08	基本計画推進のために	節	04	細節	00							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	証券発行形式で起債された市債											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	証券の購入者、購入金額の把握など市債を適切に管理する。												
(7) 事業概要	証券発行方式で行った起債に係る証券の発行・管理に係る手数料を支払う。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	11	項	01	目	03	大事業	01	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		107	0	107	0	107							
	人件費	職員数	人	0.01	0.00	0.11	0.00	0.10						
		総額(B)	千円	84	0	899	0	806						
	総事業費(A+B)		191	0	1,006	0	913							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		191	0	1,006	0	913							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		191	0	1,006	0	913								
財源計(C+D)		191	0	1,006	0	913								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													



2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 起債額のうち市中銀行からの借入額	目標値	(単位:千円)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:千円)	790,400.00	4,146,700.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法 目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 証券発行方式での起債額	目標値	(単位:千円)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:千円)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法 目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		市債を起債する際には普通貸借方式での起債を行っているが、市場のニーズ、財政事情の変化などにより、証券発行方式で起債を行う可能性もあるため、証券発行方式での起債に備えて、今後も予算計上を行っていく。				

## 事務事業分析シート

所属名	企画財政室	事業名	公債費管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00078				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 c. 定量的な指標設定ができておらず、目標や達成状況の分析も十分できていない。(1点)	1	点
(2) 有効性 (20点)	8	②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 c. 具体的な成果があまりない状況である。(1点)	1	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
(4) 公平性 (20点)	0	②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	67	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	企画財政室	事務事業番号	00078
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	15	有効性	10	効率性	15	公平性	10	持続可能性	10
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	15														
有効性	10														
効率性	15														
公平性	10														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>現在、市債の起債には政府や府、市中銀行などから直接借入を行う普通貸借方式での起債を行っているため、本事業での予算執行は行われていない。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	公共施設等整備積立基金事業				
担当部署	行政経営部	室課名	企画財政室	室課長名	山下 栄治

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和52年	改正内容	無											
(2) 直近の改正	無													
(3) 根拠法令等	吹田市積立基金条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)		<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)										
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	08	基本計画推進のために	節	04	細節	00							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	範囲等	公共施設等整備基金												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	公共施設等の整備・最適化のために積み立てる。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	経費の支出が整備事業の実施年度にのみ集中することを防止することで財政運営への影響を最小限に抑えることができる。												
(7) 事業概要	公共施設等を整備する際に必要となる経費を積み立てる。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	12	項	02	目	01	大事業	01	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		0	1,600,015	0	124,537	0							
	人件費	職員数	人	0.00	0.01	0.00	0.11	0.00						
		総額(B)	千円	0	81	0	870	0						
	総事業費(A+B)		0	1,600,096	0	125,407	0							
	特定財源(C)		0	15	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	15	0	0	0						
	市負担(D)		0	1,600,081	0	125,407	0							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		0	1,600,081	0	125,407	0								
財源計(C+D)		0	1,600,096	0	125,407	0								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

## 2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	公共施設等整備基金積立額	目標値	(単位:千円)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:千円)	1,600,016.00	124,537.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1.00	1.01	1.01
				一般財源(単位:千円)	1.00	1.01	
	(2) 成果指標	②		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)				0.0	0.0		
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標		①	公共施設等整備基金残高	目標値	(単位:千円)	0.00	0.00
	実績値			(単位:千円)	3,658,013.00	878,013.00	
	達成度(%)			0.0	0.0		
	目標値の積算方法	目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.44	0.14	0.14
				一般財源(単位:千円)	0.44	0.14	
	(3) が困難な場合	②		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	0.00
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性 (実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定					
	評価の説明	公共施設の整備に係る費用負担を複数年度に分散し、財政運営への影響を最小限に抑える必要があるため、今後も基金の積立てを行っていく。					

事務事業分析シート

所属名	企画財政室	事業名	公共施設等整備積立基金事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00079				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	企画財政室	事務事業番号	00079
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>小・中学校校舎の大規模改造や公共施設の最適化による整備計画があり、今後の経費支出に備えて引き続き財源を確保する必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	予備費管理事業				
担当部名	行政経営部	室課名	企画財政室	室課長名	山下 栄治

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正 内容	無											
(2)	直近の改正	無													
(3)	根拠法令等	地方自治法													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	08	基本計画推進のために	節	04	細節	00							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	一般会計											
		結果 (どのような効果が得られるのか)	不測の事態の発生で緊急に予算外の支出又は予算超過の支出を行わなければならない場合に速やかに予算の執行を行うことができる。												
(7)	事業概要	不測の事態の発生に伴って緊急に予算外の支出又は予算超過の支出を行わなければならない場合に備えて予備費を設ける。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	13	項	01	目	01	大事業	01	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		30,000	0	30,000	0	30,000							
		人件費	職員数	0.02	0.00	0.22	0.00	0.10							
			総額(B)	168	0	1,798	0	806							
		総事業費(A+B)		30,168	0	31,798	0	30,806							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
		市負担(D)		30,168	0	31,798	0	30,806							
(内訳)	地方債	0	0	0	0	0									
	その他	0	0	0	0	0									
	一般財源	30,168	0	31,798	0	30,806									
財源計(C+D)		30,168	0	31,798	0	30,806									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														



2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 予備費予算計上額	目標値	(単位:千円)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:千円)	30,000.00	30,000.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法 目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 予備費充当金額	目標値	(単位:千円)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:千円)	0.00	1,028.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法 目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		地方自治法上、歳入歳出予算に計上しなければならないと規定されており、また、不測の事態に迅速に対応するためにも、今後も引き続き予備費の予算計上を行う。				

事務事業分析シート

所属名	企画財政室	事業名	予備費管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00080				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	87	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	企画財政室	事務事業番号	00080
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<p>Detailed description of the radar chart: The chart has five axes. The top axis is '妥当性' (Justification) with a scale from 0 to 20. The right axis is '有効性' (Effectiveness) with a scale from 0 to 20. The bottom-right axis is '効率性' (Efficiency) with a scale from 0 to 20. The bottom-left axis is '公平性' (Fairness) with a scale from 0 to 20. The left axis is '持続可能性' (Sustainability) with a scale from 0 to 20. The shaded area represents the following scores: 妥当性: 15, 有効性: 10, 効率性: 5, 公平性: 5, 持続可能性: 10.</p>		
(3)現状分析	<p>台風等自然災害による不測の事態に対応するための財源として一定金額を確保しておくことは必要であると考えており、今後も引き続き予備費の予算計上を行う。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	上水道事業会計繰出事業				
担当部名	行政経営部	室課名	企画財政室	室課長名	山下 栄治

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正 内容	無											
(2)	直近の改正	無													
(3)	根拠法令等	地方財政法、地方公営企業法													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	08	基本計画推進のために	節	04	細節	00							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	水道事業会計												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	水道事業の経営の安定を図るために、一般会計から繰出しを行う。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	水道事業の経営の安定を図ることができる。													
(7)	事業概要	地方公営企業法及び地方公営企業繰出金についての総務省通知等に基づく経費について、一般会計から水道事業会計に繰出しを行う。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	04	項	03	目	01	大事業	01	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		0	8,940	0	8,220	0							
		人件費	職員数	人	0.00	0.01	0.00	0.11	0.00						
			総額(B)	千円	0	81	0	870	0						
		総事業費(A+B)		0	9,021	0	9,090	0							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		0	9,021	0	9,090	0							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			0	9,021	0	9,090	0								
財源計(C+D)		0	9,021	0	9,090	0									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 繰出金額	目標値	(単位:千円)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:千円)	8,940.00	8,220.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法 目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1.01	1.11		
			一般財源(単位:千円)	1.01	1.11		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 水道事業会計貸借対照表剰余金合計額	目標値	(単位:千円)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:千円)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法 目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		今後の繰出金額については総務省通知に掲げられている繰出基準及び水道事業の経営状況等を考慮し、適正な金額となるよう担当課と協議を行っていく。				

## 事務事業分析シート

所属名	企画財政室	事業名	上水道事業会計繰出事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00081				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	77	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	企画財政室	事務事業番号	00081
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成28年度については、地方公営企業職員に係る児童手当に要する経費に対する繰出しのみで、地方公営企業繰出金についての総務省通知等に基づく繰出しである。 繰出金額については水道事業の経営状況等も考慮し、担当課と協議を行っていく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	行財政改革推進事業				
担当部名	行政経営部	室課名	企画財政室	室課長名	岡松 道哉

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成10年度	改正内容	なし											
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	なし													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	08	基本計画推進のために	節	04	細節	00							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市民、議会、行政												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	事務執行を効率的かつ適切に進めるための組織管理をさらに徹底していくとともに、多様化するアウトソーシングの手法を把握し、業務に応じて最適な担い手を選択する仕組みを構築する。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	限りある行政資源の中で、最も効率的に市民福祉の向上を達成することができる。													
(7)	事業概要	指定管理者制度に関する事、アウトソーシング推進計画に関する事、外郭団体のあり方に関する事及びその他行政改革に係る施策に関する事について検討等を行い、市の事務の適切な執行を徹底するとともに、効果的かつ効率的で持続可能な行政運営を推進する。また、使用料等の定期的な見直しを図るとともに歳入確保策の検討に取り組む。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	01	大事業	09	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		2,207	1,743	2,157	1,794	2,378							
		人件費	職員数	3.00	3.00	2.30	2.30	2.05							
			総額(B)	25,056	24,117	18,791	18,170	16,507							
		総事業費(A+B)		27,263	25,860	20,948	19,964	18,885							
		(内訳)	特定財源(C)		9	7	8	0	7						
			国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	9	7	8	0	7							
		(内訳)	市負担(D)		27,254	25,853	20,940	19,964	18,878						
地方債	0		0	0	0	0									
その他	0		0	0	0	0									
一般財源	27,254		25,853	20,940	19,964	18,878									
財源計(C+D)		27,263	25,860	20,948	19,964	18,885									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														



2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容	行財政改革の取組状況について管理及び検証を行いながら、必要な見直しを図る。		目標	効率的かつ効果的で持続可能な行政運営を推進する。	
	②	成果内容	限りある行政資源の中で、最も効率的に市民福祉の向上を達成する。		達成状況	平成28年度は外郭団体のあり方に関する見直しに取り組んだ。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>効率的かつ効果的で持続可能な行政運営を進めるために、行財政改革の取組状況について管理及び検証を行いながら、必要な見直しを図っている。</p> <p>平成28年度は主に以下のことに取り組み、一定の成果を得た。</p> <p>外郭団体のあり方について、行政改革に関する検討会議を開催し、平成17年1月に策定された「外郭団体の在り方についての見直し指針」の改正について検討を行った。</p> <p>平成29年度も引き続き、指定管理者制度及び外郭団体のあり方について、学識経験者の助言等を受けながら、見直しを行う。</p>				

## 事務事業分析シート

所属名	企画財政室	事業名	行財政改革推進事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01044				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点			
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点	
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点	
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点	
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点	
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点	
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点	
(2) 有効性 (20点)	14	③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点	
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点	
		①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点	
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点	
(3) 効率性 (20点)	16	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点	
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点	
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点	
		②サービスの水準は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点	
(4) 公平性 (20点)	0	③適正な受益者負担を求めていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点	
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点	
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点	
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点	
(5) 持続可能性 (20点)	14	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点	
		評価点合計 (100点満点)	75	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	企画財政室	事務事業番号	01044
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<div style="text-align: center;"> <p>妥当性 20 15 10 5 0</p> <p>持続可能性</p> <p>有効性</p> <p>公平性</p> <p>効率性</p> </div>		
(3)現状分析	<p>市の事業を効果的かつ効率的に実施するためには、継続的な行財政改革が必要であり、事業実施の妥当性はある。</p> <p>また、継続的な組織管理、指定管理者制度の運用及び外郭団体のあり方に関する検討を通して行財政改革に取り組むことで、有効性は確保できていると考えている。今後も、将来を見据えた持続可能な行財政運営を目指した歳入増加や歳出削減策、柔軟で機能的な行政組織の確立に向けて、引き続き検討していく必要がある。</p> <p>効率性の評価については、事業予算としては旅費や消耗品程度しかなく、費用という視点からの評価は難しい。担当職員数という面では効率性は高いと考えるが、引き続き事務の改善に努め、効率性を高めていきたい。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	中核市への移行検討事業				
担当部署	行政経営部	室課名	企画財政室	室課長名	岡松 道哉

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成18年度	改正内容	中核市要件が人口30万人以上から20万人以上に変更。																	
(2) 直近の改正	平成26年度																			
(3) 根拠法令等	地方自治法第252条の22																			
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)																	
	一部にチェックした場合はその説明																			
(5) 総計計画の体系	章	08	基本計画推進のために	節	04	細節	00													
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他															
	範囲等	市民、事業者、職員																		
	目標 (どういう状態にしたいのか)	中核市へ移行した自治体の情報等を収集し、中核市移行にかかる課題等の抽出・整理を行う。																		
	結果 (どのような効果が得られるのか)	中核市への移行に向けた準備を行いつつ、本市にとって中核市への適切な移行時期を検討し、中核市への移行に備えることができる。																		
(7) 事業概要	<p>平成18年(2006年)6月公布・施行の地方自治法の改正により、面積に関する要件が廃止されたことで、本市も中核市の要件を満たすこととなりました。</p> <p>そのため、既に中核市に移行している自治体や本市同様に中核市の候補となっている自治体の情報収集をし、中核市への移行を検討するものです。</p> <p>また、大阪府との協議を進めるとともに、中核市市長会等の中核市移行に関連する会議に参加し、情報収集を行います。</p> <p>併せて、庁内に設置した検討会議において、移行に伴う事務の分類や財政負担についての検討を行います。</p>																			
(8) H28事業別予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	01	大	事	業	17	中	事	業	01	小	事	業	01
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)													
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)													
	事業費(A)		60	32	60	40	186													
	人件費	職員数	人	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25												
		総額(B)	千円	2,088	2,010	2,043	1,976	2,013												
	総事業費(A+B)		2,148	2,042	2,103	2,016	2,199													
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0												
		国		0	0	0	0	0												
		府		0	0	0	0	0												
		その他		0	0	0	0	0												
	(内訳)	市負担(D)		2,148	2,042	2,103	2,016	2,199												
		地方債		0	0	0	0	0												
		その他		0	0	0	0	0												
一般財源		2,148	2,042	2,103	2,016	2,199														
財源計(C+D)		2,148	2,042	2,103	2,016	2,199														
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施																			
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①																	
			②																	
			③																	
	主な委託内容																			
<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	中核市市長会(中核市候補市30千円)																	
		②																		
		③																		
<input type="checkbox"/> その他	内容																			

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
(3) が困難な場合	① 活動内容	中核市への移行に伴う課題等について、既に中核市へ移行した自治体の情報を収集する。			目標	中核市へ移行した自治体の情報等を収集し、中核市移行にかかる課題等の抽出・整理を行う。	
	② 成果内容	中核市へ移行した自治体の情報を収集し、中核市移行の判断材料を揃える。			達成状況	中核市へ移行した自治体から移行に伴う課題等についての情報が得られた。	
(4) 総合評価	今後の方向性 (実施計画)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定					
	評価の説明	<p>中核市へ移行することにより、市民生活に身近な福祉、保健衛生、環境、都市計画等の多くの事務権限が市へ移譲され、より一層市民の声を反映した、市民満足度の高い市政を実現できると考える。市民満足度の高い市政の実現に向けて、先行市への視察をはじめ、施行時特別市長会事務担当者会議等に積極的に参加し、情報収集を図るとともに、庁内において具体的な課題整理を行うなど、中核市への移行に関する検討を更に進めるべきものとする。</p>					

# 事務事業分析シート

所属名	企画財政室	事業名	中核市への移行検討事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01046				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	企画財政室	事務事業番号	01046
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<p>The radar chart displays five dimensions: 妥当性 (Appropriateness), 有効性 (Effectiveness), 効率性 (Efficiency), 公平性 (Fairness), and 持続可能性 (Sustainability). The scale ranges from 0 to 20. The scores are approximately: 妥当性: 18, 有効性: 15, 効率性: 10, 公平性: 5, 持続可能性: 10.</p>		
(3)現状分析	<p>中核市に移行した場合のメリットや課題について様々な角度から検討を行うことは、中核市移行に向けた準備を進める上で不可欠なものであり、円滑な移行を目指し、より具体的な検討を行う必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成29年4月1日時点における全国の中核市は48市あり、府内の中核市は4市(高槻市・東大阪市・豊中市・枚方市)である。今後、八尾市が平成30年度、寝屋川市が平成31年度の中核市移行を目指している。

## 事務事業評価調書

事務事業名	実施計画策定事業				
担当部名	行政経営部	室課名	企画財政室	室課長名	山下 栄治

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和56年度	改正 内容	実施計画の計画期間を3か年から5か年に変更。											
(2)	直近の改正	平成17年度													
(3)	根拠法令等	吹田市第3次総合計画													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	08	基本計画推進のために	節	04	細節	00							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	吹田市第3次総合計画の基本計画において定めた施策												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	基本計画において定めた施策を効果的に実施する												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	吹田市第3次総合計画の実現													
(7)	事業概要	基本計画において定めた施策を効果的に実施するため、本市が取り組む具体的な事業に関して、5か年の実施計画を策定する。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	05	大事業	02	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		609	529	317	269	317							
		人件費	職員数	人	2.50	2.50	3.00	3.00	5.00						
			総額(B)	千円	20,880	20,098	24,510	23,700	40,260						
		総事業費(A+B)		21,489	20,627	24,827	23,969	40,577							
		(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
			国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0							
		(内訳)	市負担(D)		21,489	20,627	24,827	23,969	40,577						
			地方債		0	0	0	0	0						
その他			0	0	0	0	0								
一般財源			21,489	20,627	24,827	23,969	40,577								
財源計(C+D)		21,489	20,627	24,827	23,969	40,577									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														



2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 実施計画策定にあたっての査定事業数	目標値	(単位:事業)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:事業)	1,469.00	1,465.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法 提出のあった全事業を査定するため目標設定にはなじまない。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	14.04	16.91		
			一般財源(単位:千円)	14.04	16.91		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容				目標	
	②	成果内容	基本計画において定めた施策を効果的に実施する。			達成状況	適切な手続きを経て実施計画を策定することで施策の効果的な実施に寄与している。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		第3次総合計画の実現に向け、基本計画において定めた施策を効果的に実施するため、本事業は必要不可欠なものである。 福祉と医療、教育・文化・スポーツ、高質で安全なまちづくり、市民力・地域力など、長期的な視点に立ち、政策の重要性に応じた、平成29年度から平成33年度の事業実施を計画した。 引き続き、行政評価や新公会計制度を踏まえながら、次年度以降の実施計画の策定を行っていく。				

事務事業分析シート

所属名	企画財政室	事業名	実施計画策定事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01047				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	企画財政室	事務事業番号	01047
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1" style="display: none;"> <caption>各視点からの評価結果 (推定値)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (0-20)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (0-20)	妥当性	18	有効性	15	効率性	10	公平性	10	持続可能性	10
視点	評価結果 (0-20)														
妥当性	18														
有効性	15														
効率性	10														
公平性	10														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>総合計画の着実な推進のため、計画期間を5年とする実施計画を策定し、毎年度ローリングすることとしている。平成28年度からは実施計画策定と予算編成の査定を同じ担当者が行うこととしたため、実施計画と予算の連動性をより高めることができた。</p> <p>本事業は、目標及び成果を指標として表すことは難しいが、政策・施策を効果的、効率的に推進するうえでの基本となるものであり、その重要度は大変高いものである。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	総合計画啓発事業				
担当部名	行政経営部	室課名	企画財政室	室課長名	岡松 道哉

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成26年度	改正 内容	なし					
(2) 直近の改正	なし							
(3) 根拠法令等	なし(吹田市自治基本条例に策定義務と議決義務が規定されている。)							
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
	一部にチェックした場合はその説明							
(5) 総合計画の体系	章	08	基本計画推進のために	節	04	細節	00	
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他			
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	市民及び市職員					
	結果 (どのような効果が得られるのか)	まちづくりを進めるための指針として、市民、事業者、行政が総合計画を共有する						
(7) 事業概要	総合計画の普及のための市民説明会や、総合計画基本計画に基づいた実施計画を策定するための職員研修を行う。							
(8) H28事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業	
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)	
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
	事業費(A)		0	0	0	0	0	
	人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		総額(B)	千円	0	0	0	0	0
	総事業費(A+B)		0	0	0	0	0	
	特定財源(C)		0	0	0	0	0	
	(内訳)	国		0	0	0	0	0
		府		0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0
	市負担(D)		0	0	0	0	0	
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0
一般財源		0	0	0	0	0		
財源計(C+D)		0	0	0	0	0		
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施							
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
			②					
			③					
	主な委託内容							
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①						
		②						
		③						
<input type="checkbox"/> その他	内容							

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合を示す		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	
	達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
①	活動内容	平成30年度からの10年間の計画期間とする第4次総合計画の策定に係る取組を進める中で、説明会等に用いる資料作成に必要な各種データや情報の整理に努める。			目標	まちづくりを進めるための指針として、市民、事業者、行政が総合計画を共有できるよう、普及啓発の取組に向けた準備を進める。	
	成果内容	総合計画の普及・啓発に関する取組については、第4次総合計画の策定後に行うべく、引き続き、策定過程も踏まえながら内部で検討を進めていく。			達成状況	第3次総合計画の検証と課題の整理、市民意見の聴取、基本構想(素案)の作成などから、説明会等に用いる情報の整理に努めた。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>総合計画の普及・啓発に向けた市民への説明会や、市職員に向けた啓発等に関する取組については、平成30年度からの10年間の計画期間とする第4次総合計画の策定後に行うこととしている。</p> <p>第4次総合計画の啓発に向けた取組を進めるにあたっては、計画の策定過程を踏まえたうえでの検討が必要であり、また、説明会等に用いる資料の作成に必要なデータや情報の整理についても、逐次行っていく必要がある。このため、平成28年度においては、第3次総合計画の検証と課題の整理、市民意見の聴取を行うとともに、第4次総合計画基本構想(素案)の作成など、第4次総合計画策定の取組を進める中で、市民説明会等に用いる資料の基礎となる情報の整理にも努めてきた。</p> <p>現時点において本事業は予算措置を伴っていないため、他市等との定期的な事業費の比較・分析を行う状況にはないが、今後も引き続き、同計画の策定に向けた取組と並行して、啓発に向けた取組について内部で検討を進めていく必要がある。</p>				

# 事務事業分析シート

所属名	企画財政室	事業名	総合計画啓発事業	事業区分	その他
事務事業番号	01048				

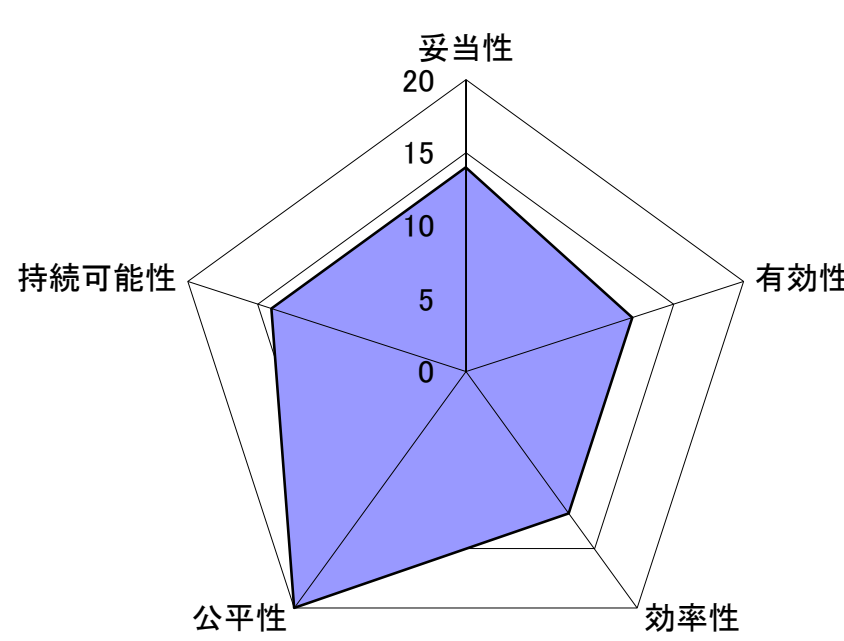
## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 c. 定量的な指標設定ができておらず、目標や達成状況の分析も十分できていない。(1点)	1	点
(2) 有効性 (20点)	12	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 c. 具体的な成果があまりない状況である。(1点)	1	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	12	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	72	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	企画財政室	事務事業番号	01048
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	 <p>The radar chart displays five dimensions: 妥当性 (Justification), 有効性 (Effectiveness), 効率性 (Efficiency), 公平性 (Fairness), and 持続可能性 (Sustainability). The scale ranges from 0 to 20. The scores are approximately: 妥当性: 18, 有効性: 12, 効率性: 10, 公平性: 5, 持続可能性: 15.</p>		
(3)現状分析	<p>総合計画の普及・啓発に向けた取組については、第4次総合計画の策定後に行うこととしている。引き続き、同計画の策定に向けた取組と並行して、啓発に向けた取組について内部で検討を進めていく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

第3次総合計画の策定以降、東日本大震災の発生や経済情勢の長引く低迷などが市民生活にも影響を及ぼし、社会経済状況及び市民ニーズの変化を捉えた対応が各分野において必要となってきた。さらに、団塊の世代が後期高齢者(75歳以上)へ移行する、いわゆる2025年問題など、国全体でますます進展する少子高齢化を見据えた施策の実施が喫緊の課題となっている。また、本市においては、北大阪健康医療都市(健都)における健康・医療のまちづくりなど、都市としての魅力を向上させる新たな取り組みが進んでいる。このような状況の中、今後のまちづくりの指針として、速やかに将来を見据えた新たな総合計画を策定する必要がある。



## 事務事業評価調書

事務事業名	大阪国際空港周辺対策協議会事業				
担当部署	行政経営部	室課名	企画財政室	室課長名	岡松 道哉

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和46年度	改正内容	大阪国際空港周辺地域活性化連絡会規約において、新たに副座長、監事の設置を規定。											
(2) 直近の改正	平成28年度													
(3) 根拠法令等	大阪国際空港周辺都市対策協議会規約、大阪国際空港周辺地域活性化連絡会規約													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	08	基本計画推進のために	節	02	細節	00							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	範囲等	市民、事業者、国、加盟市10市												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	大阪国際空港周辺の協議会・連絡会の加盟市が連携し、同空港の騒音・安全対策の促進、利便性の向上及び空港と周辺地域との調和・活性化を図る。												
結果 (どのような効果が得られるのか)	大阪国際空港周辺域における安心・安全で良好な生活環境を確保しつつ、空港機能の高質化・利便性の向上を図ることにより、空港と周辺地域の活性化につながる。													
(7) 事業概要	<p>【大阪国際空港周辺都市対策協議会】 事務担当者会議、幹事会、総会などを開催し、大阪国際空港における騒音対策・安全対策の促進及び空港と周辺地域との調和を図るため、運動方針を定め、国等への要望活動を行う。※加盟10市(豊中市、池田市、箕面市、尼崎市、西宮市、宝塚市、川西市、芦屋市、伊丹市、吹田市)</p> <p>【大阪国際空港周辺地域活性化連絡会】 連絡会が主催・共催している事業を通じて、大阪国際空港及び周辺地域の活性化を図る。※加盟7市(池田市、伊丹市、川西市、宝塚市、豊中市、箕面市、吹田市)</p>													
(8) H28事業別予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	05	大事業	05	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		180	128	138	124	138							
	人件費	職員数	人	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50						
		総額(B)	千円	4,176	4,020	4,085	3,950	4,026						
	総事業費(A+B)		4,356	4,148	4,223	4,074	4,164							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
		国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
	その他		0	0	0	0	0							
	(内訳)	市負担(D)		4,356	4,148	4,223	4,074	4,164						
		地方債		0	0	0	0	0						
その他		0	0	0	0	0								
一般財源		4,356	4,148	4,223	4,074	4,164								
財源計(C+D)		4,356	4,148	4,223	4,074	4,164								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
	主な委託内容		③											
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	大阪国際空港周辺都市対策協議会										
②			大阪国際空港周辺地域活性化連絡会											
③			分担金①63,800円②50,000円											
<input type="checkbox"/> その他	内容													



## 2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	国等への要望活動	目標値	(単位:回)	2.00	2.00	4.00
			実績値	(単位:回)	4.00	4.00	
			達成度(%)		200.0	200.0	
	目標値の積算方法	協議会が行った国等への要望回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1,037.00	1,052.25	
				一般財源(単位:千円)	1,037.00	1,052.25	
	(2) 成果指標	②		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)				0.0	0.0		
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
(3) 困難な場合		①	航空機騒音に係る環境目標適合状況。	目標値	(単位:dB)	2.00	2.00
	実績値			(単位:dB)	5.00	6.00	
	達成度(%)			250.0	300.0		
	目標値の積算方法	騒音規制法及び吹田市第次環境基本計画に基づく環境目標62dBからの減少幅を目標値とする。測定地点は芳野町。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	829.60	701.50	
				一般財源(単位:千円)	829.60	701.50	
	②	大阪国際空港年間旅客数	目標値	(単位:人)	13,900,000.00	14,500,000.00	150,000.00
実績値			(単位:人)	14,626,431.00	15,100,395.00		
達成度(%)			105.2	104.1			
目標値の積算方法		「国土交通省大阪航空局利用実績速報」から。目標値は前年度実績を参考に設定。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
①	活動内容				目標		
	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定					
	評価の説明	平成30年度から一般事務事業の中に移行。					

事務事業分析シート

所属名	企画財政室	事業名	大阪国際空港周辺対策協議会事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01049				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	87	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	企画財政室	事務事業番号	01049
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>大阪国際空港の安全・環境対策については、国等だけに任せるのではなく、同空港の近隣自治体が連携し監視を行うことが重要である。また、同空港の利便性の向上及び周辺地域との調和・活性化を図ることは周辺自治体のまちづくりの推進にも大きく寄与するものであることから、本事業の意義は大変大きいと考える。</p> <p>また、同空港の近隣自治体としての考え方を集約し、国等と協議していくうえにおいても、本事業は不可欠であると考え。</p> <p>平成30年度から一般事務事業の中に移行。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

平成24年4月に新関西国際空港株式会社が設立され、同年7月の関西国際空港と大阪国際空港の経営統合により、両空港の一体的かつ効率的な運営が行われることとなった。その後、平成27年12月には、両空港の事業運営権を期間を定めて与える「コンセッション」が決定し、平成28年4月から関西エアポート株式会社(オリックス、ヴァンシ・エアポートコンソーシアムが設立した特別目的会社)が運営を行っている。神戸市が平成30年4月を目標にすすめている神戸空港のコンセッションに、関西エアポート(株)が手を挙げており、今後の大阪国際空港の運営にも影響が見込まれる。

## 事務事業評価調書

事務事業名	地方版総合戦略策定・推進事業				
担当部名	行政経営部	室課名	企画財政室	室課長名	岡松 道哉

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成26年度	改正内容	なし											
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	まち・ひと・しごと創生法													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	08	基本計画推進のために	節	04	細節	00							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	吹田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標を達成するために講ずべき施策												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	基本目標、基本的方向に沿う具体的な施策と重要業績評価指数(KPI)を設定した吹田市まち・ひと・しごと創生総合戦略について、効果的な施策の推進を図る												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	人口減少・超高齢社会においても持続可能なまちづくりを実現する													
(7)	事業概要	<p>本市の人口の現状と将来の展望を示す人口ビジョンの内容を踏まえて、地方創生を推進するため、平成27年度(2015年度)から5か年の目標や施策の基本的方向を定めた「吹田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を平成28年(2016年)3月に策定した。平成28年度以降は、各施策の効果を客観的に検証できるよう重要業績評価指数(KPI)を設定し、効果を検証して改善を行う仕組み(PDCAサイクル)を構築する。なお、効果検証などについては、外部有識者等を含む会議において意見聴取を行う。</p>													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	05	大事業	02	中事業	03	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		6,043	5,621	77	52	77							
		人件費	職員数	人	0.00	1.00	0.40	0.40	0.40						
			総額(B)	千円	0	8,039	3,268	3,160	3,221						
		総事業費(A+B)		6,043	13,660	3,345	3,212	3,298							
		(内訳)	特定財源(C)		0	5,621	0	0	0						
			国		0	5,621	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		6,043	8,039	3,345	3,212	3,298							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
その他			0	0	0	0	0								
一般財源			6,043	8,039	3,345	3,212	3,298								
財源計(C+D)		6,043	13,660	3,345	3,212	3,298									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 吹田市まち・ひと・しごと創生推進委員会開催回数	目標値	(単位:回)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:回)	6.00	1.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法 行程によって会議回数については変動も考えられるため、目標設定にはなじまない。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	2,276.67	3,320.00		
			一般財源(単位:千円)	1,339.83	3,320.00		
	②	指標内容 吹田市まち・ひと・しごと創生総合戦略検討会議開催回数	目標値	(単位:回)	0.00	0.00	
実績値			(単位:回)	2.00	1.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法 行程によって会議回数については変動も考えられるため、目標設定にはなじまない。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	6,830.00	3,320.00			
		一般財源(単位:千円)	4,019.50	3,320.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 総合戦略に定めた4つの基本目標に掲げる施策の実施割合の平均	目標値	(単位:%)	100.00	100.00	/
			実績値	(単位:%)	62.10	78.80	
			達成度(%)		62.1	78.8	
	目標値の積算方法 全施策の実施割合の平均(実施済・実施中を100、一部実施済・実施中を50、検討中や未着手を0として、割合の平均を積算)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	219.97	42.13		
			一般財源(単位:千円)	129.45	42.13		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>「まち・ひと・しごと創生法」において、市町村は、地域の実情に応じたまち・ひと・しごと創生に関する施策についての基本的な計画を定めるよう努めなければならないとされている。人口減少問題を克服し持続可能なまちづくりを進める上で、地方版総合戦略の策定とその活用は、本市にとっても重要な位置づけにある。今後は、策定した総合戦略に基づいて、施策や取組を推進し、その効果を検証しながら、進行管理を行っていく。</p>				

事務事業分析シート

所属名	企画財政室	事業名	地方版総合戦略策定・推進事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01050				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	77	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	企画財政室	事務事業番号	01050
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

平成28年3月に吹田市人口ビジョン及び吹田市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定した。  
 今後、アクションプランの進捗やKPI(重要業績評価指標)を管理しながら、本計画を推進していく。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	18	有効性	15	効率性	10	公平性	5	持続可能性	10
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	18														
有効性	15														
効率性	10														
公平性	5														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>平成28年3月に策定した「吹田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、所管部局において事業や取組を進めている。          本戦略に定めた施策については、交付金をはじめとした国の財政的支援等が得られる可能性があるが、対象となる条件が本市の施策に合致しない状況である。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

人口減少をはじめ、少子高齢化問題を克服し、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくという喫緊の課題に対し、国、大阪府並びに他の自治体と連携しながら、中長期的視点に立って取り組んでいくため、本市でも総合戦略に基づき、引き続き、施策や取組を進める必要がある。

## 事務事業評価調書

事務事業名	下水道特別会計繰出事業				
担当部名	行政経営部	室課名	企画財政室	室課長名	山下 栄治

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	不明	改正 内容	無											
(2) 直近の改正	無													
(3) 根拠法令等	地方財政法、地方公営企業法													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	08	基本計画推進のために	節	04	細節	00							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	下水道特別会計											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	下水道事業に係る元利償還金及び施設の維持等に係る経費について一般会計から繰出しを行う。												
(7) 事業概要	下水道事業に係る元利償還金及び施設の維持等に係る経費について一般会計から下水道特別会計に繰出しを行う。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	08	項	05	目	05	大事業	01	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		3,578,541	3,550,013	3,496,005	3,452,732	0							
	人件費	職員数	人	0.00	0.01	0.00	0.11	0.00						
		総額(B)	千円	0	81	0	870	0						
	総事業費(A+B)		3,578,541	3,550,094	3,496,005	3,453,602	0							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		3,578,541	3,550,094	3,496,005	3,453,602	0							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		3,578,541	3,550,094	3,496,005	3,453,602	0								
財源計(C+D)		3,578,541	3,550,094	3,496,005	3,453,602	0								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													



2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 繰出金額	目標値	(単位:千円)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:千円)	3,550,013.00	3,452,732.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法 目標値の設定にはなじまない事務のため、設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1.00	1.00		
			一般財源(単位:千円)	1.00	1.00		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	
	達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		平成29年度から地方公営企業法の一部適用により、本事業については平成28年度をもって廃止となる。今後は下水道事業会計負担金事業で、下水道事業会計に係る運営経費の一部を負担する予定である。				

## 事務事業分析シート

所属名	企画財政室	事業名	下水道特別会計繰出事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01514				

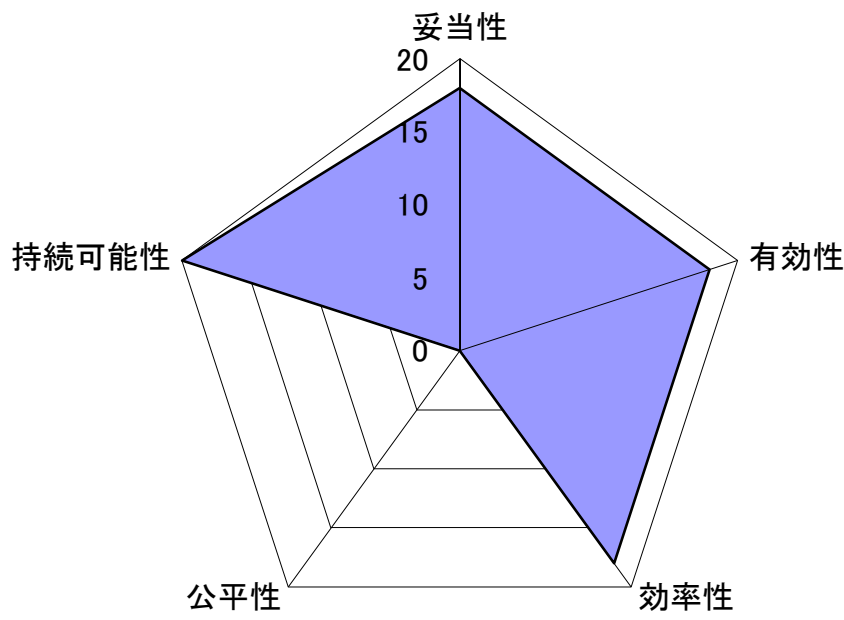
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
(4) 公平性 (20点)	0	②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	企画財政室	事務事業番号	01514
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成28年度限りで本事業は廃止となる。平成29年度からは地方公営企業法の一部適用により、下水道事業会計負担金事業として下水道事業会計に係る運営経費の一部を負担する予定である。負担金額については下水道事業の経営状況等も考慮し、担当課と協議を行っていく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	総合計画策定事業				
担当部名	行政経営部	室課名	企画財政室	室課長名	岡松 道哉

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成27年度	改正内容	なし											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	吹田市自治基本条例、吹田市議会の議決すべき事件に関する条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	08	基本計画推進のために	節	04	細節	00							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	吹田市総合計画											
	結果(どのような効果が得られるのか)	平成30年度(2018年度)から平成39年度(2027年度)までの今後10年間のまちづくりの指針として、将来を見据えた新たな総合計画を策定する。												
(7) 事業概要	第3次総合計画(以下「現計画」という。)は、東日本大震災以前に策定したものであり、市民の防災等に対する意識の変化や進展する少子高齢化など、社会経済状況に応じて今日の見直しを行い、将来を見据えた新たな総合計画を策定する必要があるため、現計画の目標年度である平成32年度(2020年度)を前に、平成30年度(2018年度)を計画始期とする「第4次総合計画」を策定する。													
(8) H28事業別予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	05	大事業	02	中事業	02	小事業	01
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		0	0	24,057	16,177	20,306							
	人件費	職員数	0.00	0.00	7.00	6.00	7.00							
		総額(B)	0	0	57,190	47,400	56,364							
	総事業費(A+B)		0	0	81,247	63,577	76,670							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
	市負担(D)		0	0	81,247	63,577	76,670							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		0	0	81,247	63,577	76,670								
財源計(C+D)		0	0	81,247	63,577	76,670								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)										
			②											
			③											
	主な委託内容		吹田市第4次総合計画策定支援業務											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 市民ワークショップ参加人数の合計	目標値	(単位:人)	0.00	400.00	140.00	
			実績値	(単位:人)	0.00	144.00		
			達成度(%)		0.0	36.0		
	目標値の積算方法	市民ワークショップ定員人数の合計	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	112.34	
				一般財源(単位:千円)		0.00	112.34	
	②	指標内容 総合計画審議会(全体会・部会)開催回数の合計	目標値	(単位:回)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:回)	0.00	10.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法	目標値の設定にはなじまないため設定せず。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	1,617.70		
			一般財源(単位:千円)		0.00	1,617.70		
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(3) が 困難な場合を示す	①	活動内容	第3次総合計画策定以降の新たな課題や取組の分析・整理を行うとともに、市民ワークショップ等の実施により市民意見の聴取に努め、これらを踏まえ、第4次総合計画基本構想(素案)を作成した。			目標	総合計画審議会に基本構想(素案)を諮問し、同審議会において素案のとりまとめに向けた審議を進める。	
	②	成果内容	第4次総合計画基本構想(素案)をとりまとめる。			達成状況	現時点における第4次総合計画基本構想(素案)をとりまとめた。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		変化の激しい時代においても進むべき大きな方向性を見失うことなく、市民や行政がめざすべき将来像を共有し、その実現に向けて総合的かつ計画的に施策を推進していくために、速やかに第4次総合計画を策定する必要があるため、平成28年度(2016年度)からの2か年を策定期間として取組を進めている。今後も引き続き、広く市民意見の聴取に努めるとともに、庁内での検討及び総合計画審議会での審議を進めながら、第4次総合計画(案)を策定のうえ、平成30年(2018年)2月定例会には同計画(案)を市議会に提案するべく、精力的に取り組んでいく。					

## 事務事業分析シート

所属名	企画財政室	事業名	総合計画策定事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01515				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	87	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		



所属名	企画財政室	事務事業番号	01515
-----	-------	--------	-------

## 2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

平成28年度における第4次総合計画の策定に関する取組については、5月9日に「第4次総合計画の策定方針」を政策決定後、同計画の基本構想(素案)を策定するべく、庁内では6月から10月にかけて総合計画策定委員会を3回及び同委員会作業部会を9回、また、各部局のマネジメントによる検討会議も開催のうえ、基本構想(素案)の検討を進めてきた。

市民参画の取組としては、7月に中学生を対象としたワークショップ及び高校生を対象としたアンケート調査を実施し、9月から10月にかけては、全6回のシリーズ企画による市民ワークショップを実施した。また、大阪大学及び関西大学の政策研究系サークルに政策研究を依頼し、研究成果の発表会を行った。さらに、11月から翌年3月にかけては、市民団体リレーインタビューを市内の12団体に実施し、広く市民意見の聴取に努めてきた。

市議会においては、総合計画検討特別委員会が設置され、当該委員会からいただいた様々な意見も踏まえながら、基本構想(素案)の検討を進めてきた。

総合計画審議会においては、11月10日付けで基本構想(素案)を諮問した後、同審議会による基本構想(素案)の検討として、全体での審議が4回、部会での審議が6回開催され、4月5日の第5回審議会において、現時点における基本構想(素案)のとりまとめが行われた。

## 3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	15	有効性	10	効率性	10	公平性	5	持続可能性	10
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	15														
有効性	10														
効率性	10														
公平性	5														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>平成28年度(2016年度)においては、市民ワークショップや市民団体リレーインタビュー等により、広く市民意見の聴取に努めてきた。策定スケジュールに関しては、基本構想(素案)の庁内での検討に要する期間を延長する等、当初の予定から若干のスケジュール変更を要しながらも、総合計画審議会において集中的に審議を進めてきたこと等により、概ね計画どおり進捗している。</p> <p>平成29年度(2017年度)には基本計画(素案)を策定し、必要に応じて基本構想(素案)との調整をしながら第4次総合計画(案)を取りまとめのうえ、平成30年(2018年)2月定例会には同計画(案)を提案する予定としている。このため、限られた期間の中で、これまで以上に効率的に策定作業を進めていく必要がある。</p>														

## 4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

第3次総合計画の策定以降、東日本大震災の発生や経済情勢の長引く低迷などが市民生活にも影響を及ぼし、社会経済状況及び市民ニーズの変化を捉えた対応が各分野において必要となってきた。さらに、団塊の世代が後期高齢者(75歳以上)へ移行する、いわゆる2025年問題など、国全体でますます進展する少子高齢化を見据えた施策の実施が喫緊の課題となっている。また、本市においては、北大阪健康医療都市(健都)における健康・医療のまちづくりなど、都市としての魅力を向上させる新たな取り組みが進んでいる。

このような状況の中、今後のまちづくりの指針として、速やかに将来を見据えた新たな総合計画を策定する必要がある。

## 事務事業評価調書

事務事業名	総合教育会議運営事業				
担当部名	行政経営部	室課名	企画財政室	室課長名	野田 健司

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成27年度	改正 内容																		
(2) 直近の改正																				
(3) 根拠法令等	地方教育行政の組織及び運営に関する法律																			
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)																	
	一部にチェックした場合はその説明																			
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり																	
	節	00																		
	細節	00																		
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> 建設事業 <input type="checkbox"/> その他																	
		範囲等	市長、教育委員会																	
	目標 (どういう状態にしたいのか)	市長と教育委員会が、総合教育会議を通じて十分な意思疎通を図り、地域の教育の課題やあるべき姿を共有し、より一層民意を反映した教育行政の推進を図る。																		
	結果 (どのような効果が得られるのか)	相互の連携が深まり、効果的に教育に関する施策を進めることにつながる。																		
(7) 事業概要	教育に関する予算の編成・執行や条例提案など重要な権限を有する市長と教育委員会とが、十分な意思疎通を図り、地域の教育の課題やあるべき姿を共有して、より一層民意を反映した教育行政の推進を図ることを目的に、市長が会議を招集し、原則公開の会議を開催します。必要に応じて関係者又は学識経験者から意見を聴取することができます。会議において協議・調整の行われた事項はその結果を尊重することとされています。																			
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	05	大	事	業	06	中	事	業	01	小	事	業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)													
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)													
	事業費(A)		0	0	17	0	19													
	人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.40	0.40													
		総額(B)	千円	0	0	3,268	3,160													
	総事業費(A+B)		0	0	3,285	3,160														
	特定財源(C)		0	0	0	0														
	(内訳)	国		0	0	0	0													
		府		0	0	0	0													
		その他		0	0	0	0													
	市負担(D)		0	0	3,285	3,160														
	(内訳)	地方債		0	0	0	0													
		その他		0	0	0	0													
一般財源		0	0	3,285	3,160															
財源計(C+D)		0	0	3,285	3,160															
(10) (該当するものは全部チェック)	□ 直接実施																			
	□ 委託又は一部委託	委託先	①																	
			②																	
			③																	
	主な委託内容																			
□ 補助金・負担金	交付先	①																		
		②																		
		③																		
□ その他	内容																			



2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:回)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:回)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) 困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	
	達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
①	活動内容	会議の開催。			目標	市長、教育委員会が相互に連携を図り、適切な協議・調整を行う。	
	②	成果内容	総合教育会議において、協議され合議を得た結果について、教育行政に反映し、教育施策の推進が図られること。			達成状況	本市の学校現場を知るために、教員の意見を聴取し、現場の課題を共有し、必要な施策を講ずる機会を得た。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		総合教育会議において、市長と教育委員会が認識を共有し、課題解決のため、必要な対応策を検討することは、本市の教育行政の推進を図る上で重要であると考え、今後も本会議を通じて、市と教育委員会が連携し、教育行政を進めていくことが肝要であると考えます。				

## 事務事業分析シート

所属名	企画財政室	事業名	総合教育会議運営事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01516				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 c. 市民ニーズは低下している。又は市民ニーズを把握できていない(1点)	1	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	8	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 c. 迅速なサービス提供はあまり考えていない。(1点)	1	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	77	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	企画財政室	事務事業番号	01516
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <caption>各視点からの評価結果 (推定値)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価点数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価点数	妥当性	15	有効性	10	効率性	5	公平性	5	持続可能性	10
視点	評価点数														
妥当性	15														
有効性	10														
効率性	5														
公平性	5														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>本事業は平成27年4月に改正施行された地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4に基づく事業であり、これまでに様々な教育の課題について協議を重ねてきました。今後、協議の結果に基づき教育施策の見直しや新たな方向性を検討する予定であり、当事業の有効性は非常に重要であると考えます。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)